

# JRC 部研修会を実施しました

7月22日(月)夏休み直前の午後、筑波大学の梅本通孝先生とゼミの学生さん4名をお迎えして研修会を実施しました。



今回のテーマは防災です。筑波大学都市防災研究室が考案されたゲーム“アレがない!どうする?”を4つのグループに分かれて行いました。

このゲームは災害時の備えについて考える防災カードゲームです。

部員20名は5人ずつのグループに分かれて、各班にファシリテーターを迎え、それぞれが17枚の持ち物の札をもらいました。

ガムテープ、油性ペン、ティッシュ箱…どこの家にもある品々が…

家に一人でいるとき、大きな地震が起こって、それから…という想定で知恵を絞ってゆくゲームです。



初めはお客様をお迎えして緊張していたメンバーたちですが、  
大学生のリードしていただき、ゲームを進めながら

自分の意見を話すうちにだんだん楽しくなってきました…(o^-^o)



用意された困難な状況を切り抜ける方法を楽しく考えることができました。



一人一人が意見を出し合い、また、お互いに相手の意見をよく聞いて、  
その中で一番良い意見をそれぞれが選り分け、認め合うのも、

今日はゲームですが、実際に被災した現場でも大切なことです。

ゲームの中で、持ち物カードを使えばできる非常用の対策アイデアを実演して下さいました。



☞ツナ缶に穴をあけて火を灯すとか



☞食品ラップは、水の節約になるとか



被災の混乱の中にも恥じらいを忘れないとか…☞

新しく知ったこと、今さらながら気づかされたことなどが盛りだくさんの実りある90分になりました。

今日ゲームの中で考えたことはほんのわずかの事例で、防災に万全はありません。

実際に辛い現場においても柔軟に対処するためには、

普段から便利なものを見たときに「これがなかったらどうしたらいいだろう」という意識を持って生活することだと教えていただきました。

これらの研修をもとに、今後のJRC部の活動として小学生や中学生とともにこのゲームを使って、災害が起こった時の心構えを考える機会を持つと思っています。

梅本通孝先生とゼミ生の皆さん、このたびは私たちに良い学びの機会をいただきありがとうございます。

梅本 通孝 先生の研究について

**出身：**長野県須坂市（高校の部活は山岳部）

**研究分野：**都市・地域防災，都市リスク管理

**所属学会：**地域安全学会，日本都市計画学会，日本建築学会，日本自然災害学会

**講演：**「学校防災＋教育は一生モノ―事例と手がかり―」

令和元年度茨城県防災教育指導者研修会/2019-06-27 など

**著書：**「巨大地震による複合災害」(共著) 筑波大学出版会，2015-11 など